

活性汚泥の専門医

MIZU Doctor

自動計測システム

<https://mizudoctor.tokyo/>

モニター事例をご覧頂けます

※ブラウザは「Google Chrome」でご使用ください

URL: <https://mizudoctor.tokyo/>

ユーザー ID: zirei1

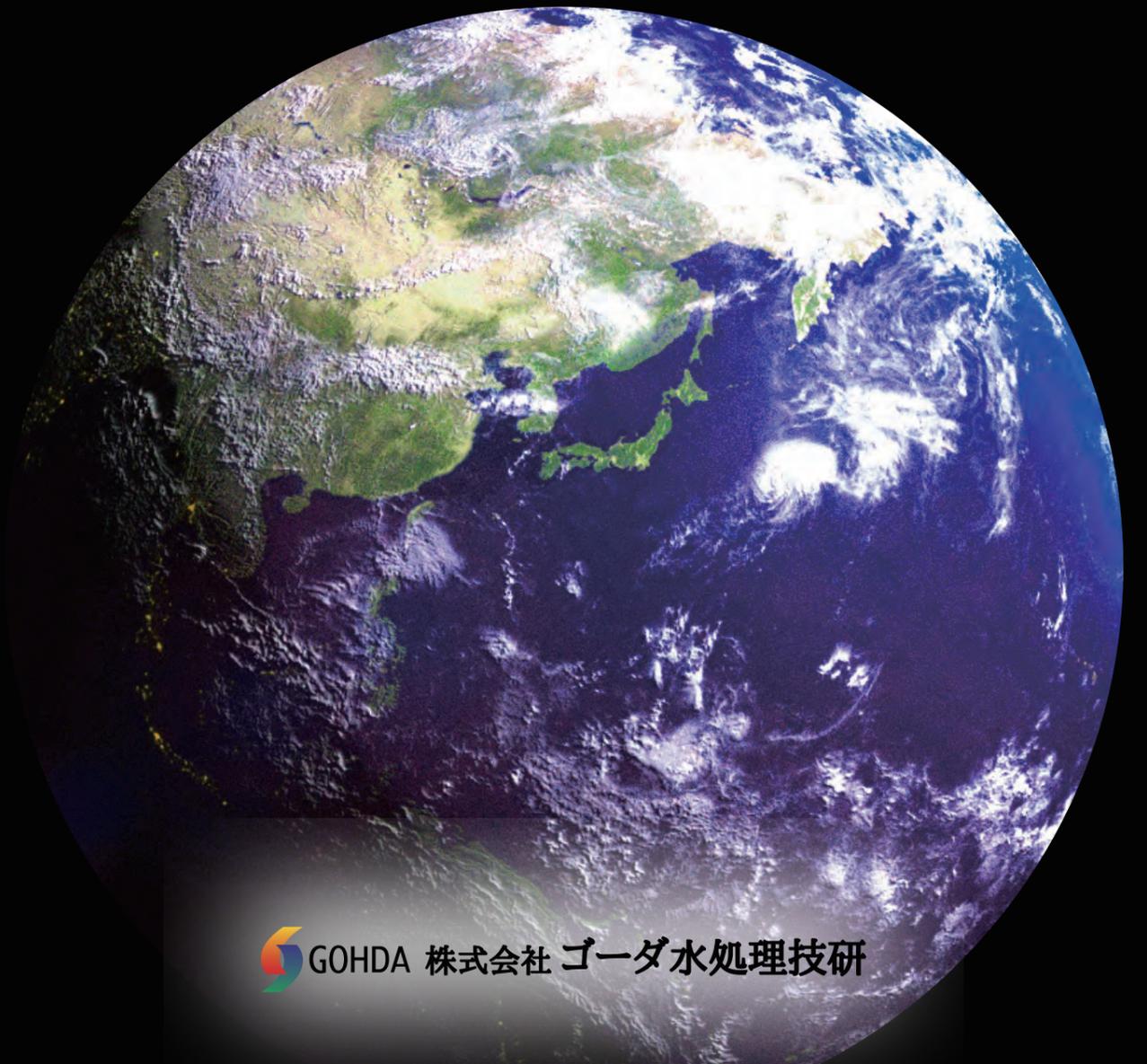
パスワード : zirei001



株式会社 ゴーダ水処理技研

〒104-0041 東京都中央区新富1-6-1
TEL 03-3551-2820 FAX 03-3551-2848
E-mail mizudoctor.info@mizu.co.jp

GOHDA 株式会社 ゴーダ水処理技研



～運転管理の標準化に重要な**2**大ポイント～

活性汚泥の現症状を 1秒回答

日常計測データに基づき、15,000通り以上の
活性汚泥パターンから**15分類**に判別します

試行錯誤の管理、ベテランに頼る管理から
標準化することができます

症状が診断できれば、処方は標準化できます
運転管理で行える操作は**3**つしかありません

「**酸素供給量の増量**」

「**酸素供給量の減量**」

「**余剰汚泥の引抜き**」

運転管理を アドバイス

処理プラント設備の特徴を理解した上で
操作することが重要です

運転管理上のリスクが理解できます
機器設備のメリットとデメリットがわかります

- 例 ? 酸素供給量を増量した際に
改善する場合と悪くなる場合があるが...
- ? 脱窒現象をコントロールしたいのだが...
- ? 操作方法に問題があるか否かわからない

機器設備に合致した運転方法を
アドバイスしますので標準化できます

活性汚泥の専門医

MZU Doctor

初期設備設置・資材投入は一切不要!

30年の実績により活性汚泥の健康維持を実現!

管理者の
メリット

維持管理の標準化

迷っていた活性汚泥の現症状がわかり
対策と今後の予測が容易に出来ます
標準化された運転維持管理を実現します

処理能力の向上

適正な運転管理をすることで活性汚泥の
処理能力が向上します
既存施設の能力を最大限に引き出します

糸状性細菌抑制

活性汚泥法処理の大敵である糸状性細菌
活性汚泥を適正管理することで
糸状性細菌優勢によるバルキングを抑制します

経営者の
メリット

電気代削減

無駄のないブローの適正管理が可能となり
電気代を削減します

薬剤費削減

無駄のない適正管理で薬剤経費を削減します
標準化された運転維持管理を実現することで
浄化力を最大限に高めます

汚泥産廃費削減

活性汚泥を適正に管理することにより
余剰汚泥発生量が減り 無駄な引抜き量が削減されます
脱水効率がアップし 産廃経費を削減します

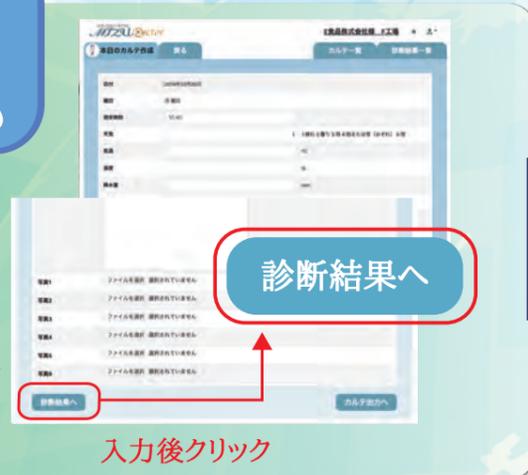


STEP:1 診察 = 現状確認

日々の計測データを入力、
 各現場に合わせた適正值を導き出します



計測データをカルテに入力



入力後クリック

1秒後

STEP:2 診断 = 原因説明

活性汚泥を15症状に分類!

活性汚泥不足	活性汚泥 過負荷状態で解体	BOD量	活性汚泥	酸素
	活性汚泥 に対する過負荷	BOD量	活性汚泥	酸素
	MLSS濃度 正常or低い	BOD量	活性汚泥 OR 活性汚泥	酸素
	MLSS濃度 高い	BOD量	活性汚泥	酸素
	酸素不足	BOD量	活性汚泥	酸素
	酸素過多	BOD量	活性汚泥	酸素
	SS過多	BOD量	活性汚泥	酸素
	酸素不足	BOD量	活性汚泥	酸素
	健康	BOD量	活性汚泥	酸素
	BOD量不足	BOD量	活性汚泥	酸素
	酸素過多	BOD量	活性汚泥	酸素
	酸素過多 糸状性細菌優勢傾向	BOD量	活性汚泥	酸素
	自己消化	BOD量	活性汚泥	酸素
	脱室傾向	BOD量	活性汚泥	酸素
	糸状性細菌 異常増殖	BOD量	活性汚泥	酸素

STEP:3 処方 = 対策

活性汚泥の現状に合致した具体的な対策方法とその詳細説明が明記されます
 標準化した対策により管理者の不安を解消します

STEP:4 予測

対策後の活性汚泥の状態を予測し、その後に注意すべき事項が明記されます
 事前の予測が可能になり、標準化が図れます

～あなただけの診療室～

ユーザーメニューは
 様々な機能が満載です!

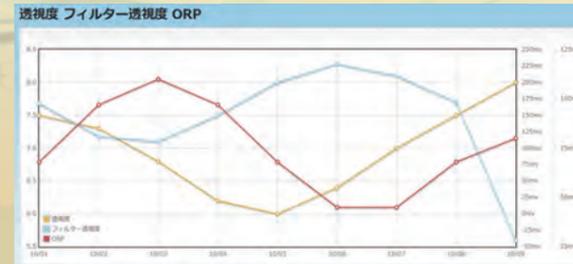


『診断結果一覧』で一目でわかる!

	活性汚泥過負荷状態で解体	活性汚泥に対する過負荷	活性汚泥不足		SS過多	酸素不足	健康	BOD量不足	酸素過多	酸素過多糸状性細菌優勢傾向	自己消化	脱室傾向	糸状性細菌異常増殖
			MLSS濃度正常or低い	MLSS濃度高い									
金													
木													
水													
火													
月													
日													
土													
金													
木													
水													
火													
月													

●グラフ化機能

過去のデータは簡単にグラフ化が可能!
 運転管理を見極める材料となります



グラフ項目

- ① pH・ORP・汚泥ORP
- ② pH・パケットテスト・SV24外観(脱室)
- ③ SV30・SV24・余剰汚泥引抜量
- ④ SV30・SV24・SV24外観(糸状性細菌)
- ⑤ 透視度・フィルター透視度・ORP
- ⑥ 酸素量・SV比較 酸素水・SV比較 脱酸素水

●活性汚泥状態等の事例写真集

代表的な活性汚泥の状態や
 排水処理施設での事例、
 計測方法等を写真入りで
 詳しく説明します

様々な事例が視覚的な
 観点からも確認可能です



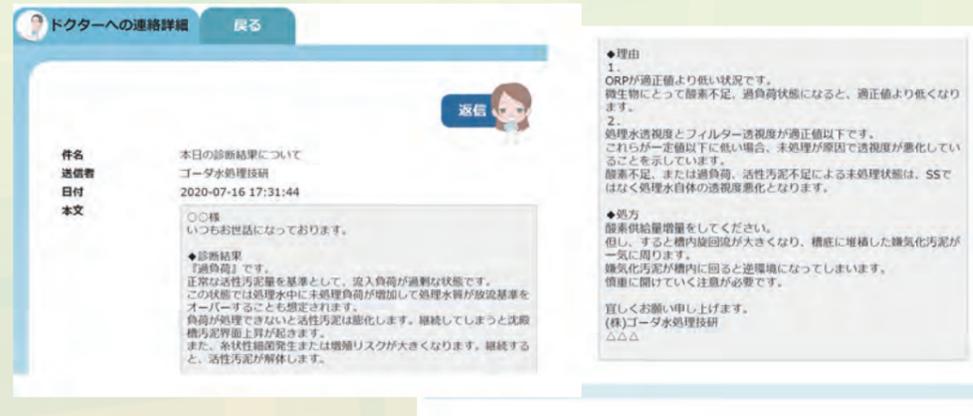
●書類出力機能

入力したカルテは過去の分も含め、帳票として出力が可能です
 日報や報告書等に用いることが簡単に出来ます

～総合診療プラン～

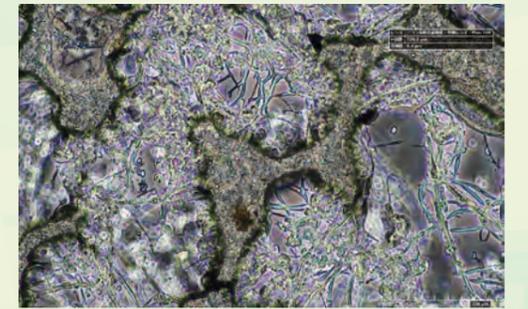
●主治医サービス

水ドクタースタッフが毎日状況を確認把握し、
適時メール等により活性汚泥と機器設備の
的確な運転管理のアドバイスをします

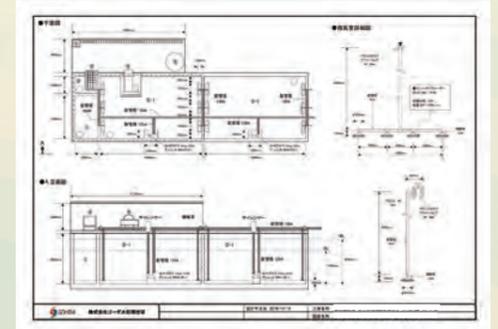


●分析サービス

状況に応じて、糸状性細菌分析・
活性汚泥分析・薬剤合致試験等を実
施できます
(有償)



●セカンドオピニオン サービス



ご要望に応じて

- ① 施設に適合した装置
- ② 施設に適合した設備
- ③ 施設に適合した薬剤

の選定および御見積を提供します

ご要望に応じた施設の設計および
御見積を提供します(有償)

●タブレットサービス

専用タブレット端末をお貸出します
タブレット端末を利用することで、
簡単に水ドクターへのデータ入力や
写真撮影ができ、
手軽に診療を受けることができます
社内LANを使用しないので、
セキュリティ対策は万全です



※本アプリはブラウザに「Google Chrome」を使用します

緊急警報の送信

任意の計測データの逸脱を感知し
緊急連絡します

- 例 沈殿槽汚泥界面が規定値を超えた場合
- 例 膜処理装置の真空圧が規定値を超えた場合
- 例 処理水透視度が規定値を下回った場合
- 例 凝集剤タンク貯量が規定値を下回った場合 等

リアルタイム計測

その日その日の処理状況を
正確に把握することで
安定した処理状況を維持することができます

任意の計測回数で日報や月報
データグラフ化等役立つ機能がたくさんあります

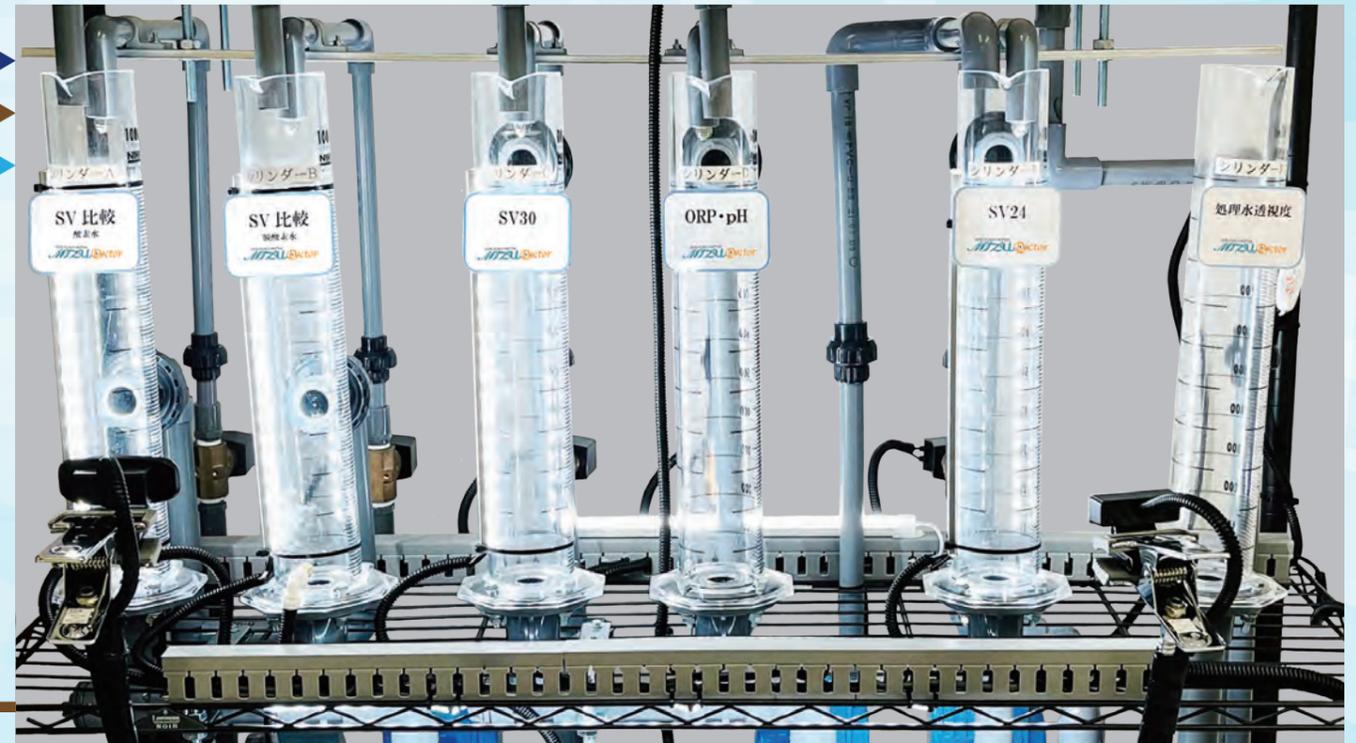
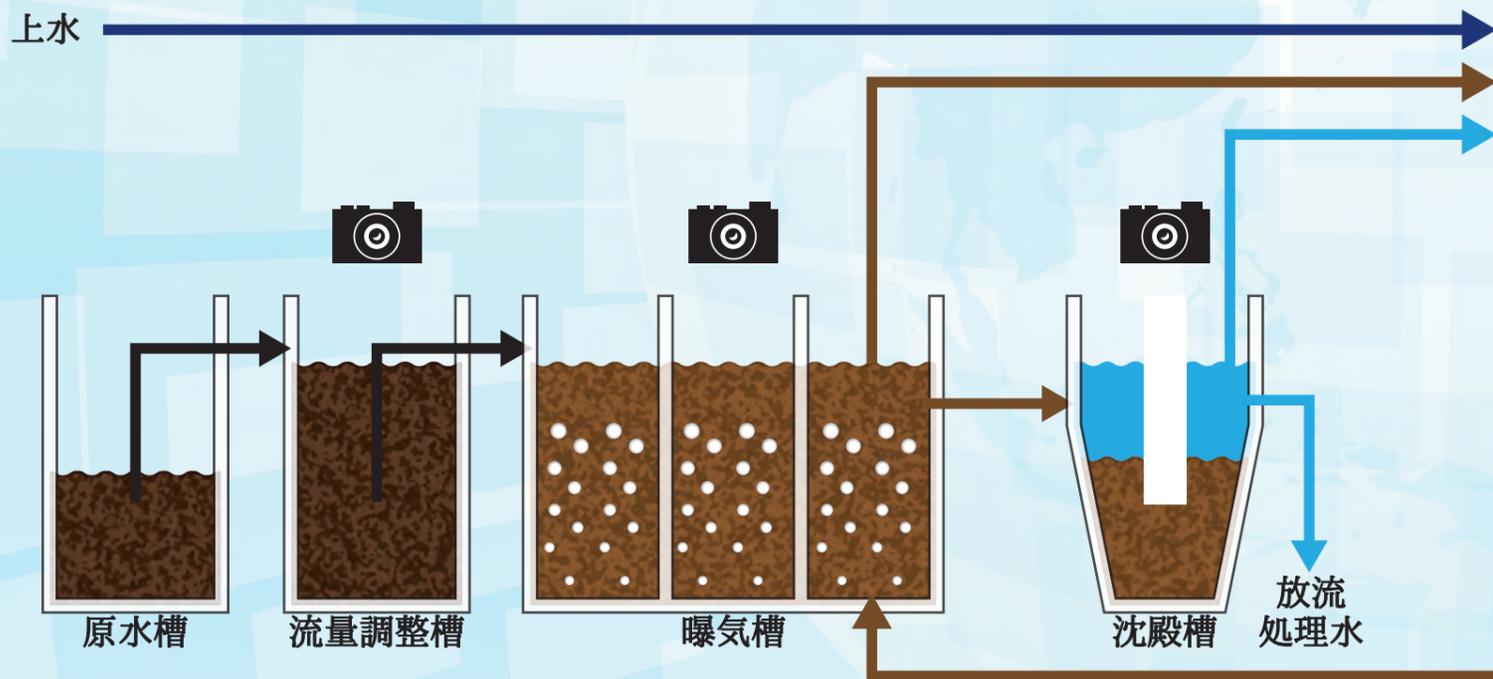
人為的な計測誤差が解消できます

計測データは正確な計測方法が必須です
二人以上での計測方法の誤差や誤りを防げます

現場状況の確認

任意の処理槽や設備を
スマートフォンで確認できます

- 例 粗雑物スクリーンのかごが溢れているか現場に行かなくても確認できます
- 例 流量調整槽の水位を現場に行かなくても確認できます
- 例 曝気槽の発泡状態を現場に行かなくても確認できます
- 例 沈殿槽で脱室状態を現場に行かなくても確認できます
- 例 放流口での泡立ちを現場に行かなくても確認できます



排水処理施設

任意の時間に複数回計測

- pH ORP SV30分 SV24時間 SV比較 流入量 水温 プロワー等稼働状況 etc.

リアルタイムで観察可能

曝気槽 沈殿槽 脱水機 SV計 etc.

任意の時間に複数回撮影

水ドクター

スタッフ

アプリ

運転管理について「アドバイス」と「解説」

ユーザー様

管理の標準化

診断結果と処方

緊急警報メール

e-mail

～水ドクター導入まで～

手 順	詳 細		所要時間(分)
1 管理担当者様 実務担当者様 水ドクターの説明と ご利用目的の確認 (WEB 会議等対応可)	<ol style="list-style-type: none"> 水ドクターの紹介と導入のメリット等のご説明 <ul style="list-style-type: none"> 活性汚泥の現状分析と対策及び導入のメリット メールや電話によるコンサルティング骨子 等 水ドクター計測項目の意義 導入による維持管理標準化、経費削減等の実績紹介 お困りごと <ul style="list-style-type: none"> 現在の施設情報の共有 質疑応答 	WEB会議 & メール	45~60
2 秘密保持契約について	<ul style="list-style-type: none"> 秘密保持契約書の締結 		
3 管理担当者様 実務担当者様 計測状況確認 導入後の見通し	<ol style="list-style-type: none"> 情報共有シートの完成 (施設情報、排水フロー図、濃度計量証明書〈原水・処理水〉等) 過去の計測データ表の受け取り、解析 (直前1年間分 or 可能な範囲) 計測項目確認 (自動計測 手作業計測 外注計測) 現状維持管理の目安確認 <ul style="list-style-type: none"> 現在の重点管理項目と運転調整方法の共有 現在の計測項目の必要の有無を精査、追加削除調整の打ち合わせ 追加計測項目の計測方法やタブレットの使用方法等の説明 水ドクター導入後の安定化と標準化の見通し 	WEB会議 & メール	メールによる確認
4 本契約締結	<ul style="list-style-type: none"> 同意書 タブレット端末借用書 計測備品の確認と補充 		
5 実務担当者様 水ドクターの実質開始	<ul style="list-style-type: none"> 自動計測システム開始 データに基づいた運転管理アドバイス開始 運転管理についての質問及び回答 		
6 自動計測システム 診断結果の送信 アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 開始後 3 週間程度で 15 症状の健康状態を示す適正值稼働 		毎日のメール & 電話連絡